

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7487**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト
内にある検索窓に、いいかぶと
4文字入れて検索してください。

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。
事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

◆株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 毎年6月1日から翌年5月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年8月 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当を行うとき 11月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 郵送物送付および お問合せ先 | 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| 同取次所 | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 |
| 公告方法 | みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 電子公告 (http://www.ozu.co.jp/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 |

◆INFORMATION

株主優待制度について

①株主優待の方法

毎年5月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1単元(100株)
以上保有の株主様に対し、商品年1回、以下の基準により贈呈いたします。

②優待内容

- ◆100株以上
ティッシュペーパー、トイレトペーパー詰合せ 2,000円相当
- ◆500株以上
ティッシュペーパー、トイレトペーパー詰合せ 3,000円相当

③贈呈時期

定時株主総会後に発送いたします。



 小津産業株式会社

〒103-8435 東京都中央区日本橋本町3丁目6番2号
TEL 03(3661)9400
ホームページアドレス <http://www.ozu.co.jp/>

第97期 報告書

平成19年6月1日～平成20年5月31日

 小津産業株式会社

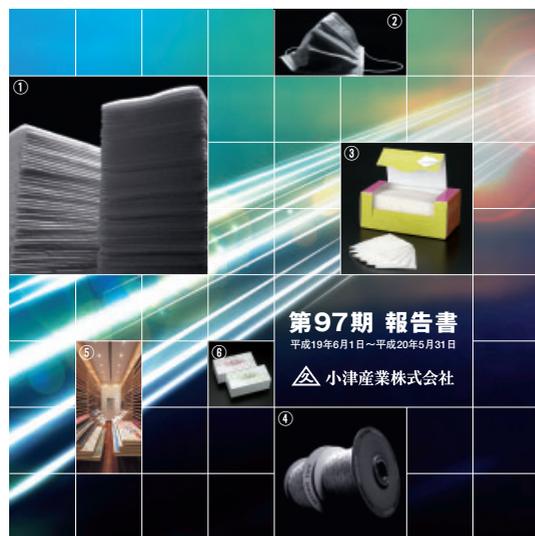




■「温故而知新」青淵老人題
 洪沢栄一翁(1840-1931)が小津の経営理念に賛同し、自ら筆をとり、したためたもの。洪沢翁は青淵と号し、広い見識をもって明治・大正期の実業界を指導された先覚者で翁の偉大な人格は、常に小津グループが範として仰いでいるものである。
 (温故而知新一論語為政編の一節)

企業理念

私たちは、伝統とは継続的な開拓の歴史との認識のもと、お客様の満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献してまいります。



表紙写真／小津グループが取り扱う商品群

- ①不織布ワイパー：半導体などの先進産業向け製品。製造工程（クリーンルーム）を清潔な環境に保つための高機能ワイパー。
- ②不織布マスク：安全性が求められる医療・介護の現場で用いられる高品質のディスポーザブルマスク。
- ③化粧用コットン：化粧品関係の口コミサイト「@コスメ」で根強い人気を誇る『セルセル®』。人気の秘密は保水性や毛羽立ちの少ない不織布にあります。
- ④シーダーテープ：土の中で自然分解される不織布で野菜などの種を包んだテープ。そのまま埋めることで等間隔に生育し、農業の生産性向上に寄与。
- ⑤和紙：小津和紙の店舗では、日本全国の手漉き和紙業者300数件が生産するすべての和紙を取り扱っています。
- ⑥ティッシュペーパー：日々変化する消費者ニーズを捉え、新しい価値や機能性を付加した家庭紙・日用雑貨を開発、市場へ投入しています。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第97期（平成19年6月1日～平成20年5月31日）報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループは、『伝統とは継続的な開拓の歴史』との認識のもと、お客様の満足や喜びを第一に考え、消費者ニーズの変化に対応しながら顧客満足のソリューションを提供する提案型機能商社として、株主価値の増大を図り、企業価値を高めてゆくことを基本方針としております。

具体的には、エレクトロニクス、メディカル、コンシューマー、アグリ（農業）分野向けの素材である不織布の加工・販売を中心とする「不織布部門」、ティッシュペーパーやトイレトペーパー、日用雑貨の首都圏流通を担う「家庭紙・日用雑貨部門」の2部門を柱とし、さらに洋紙・和紙の販売を合わせて、分野を横断した相乗効果を狙いつつ、外部環境に左右されにくい企業体質の構築に努めております。

続きまして、当期における業績についてご説明いたします。連結の売上高は426億74百万円（前期比7.5%増）となりましたが、営業拠点の増強や家庭紙・日用雑貨事業の統合に要した費用の増加、また原料資材の高騰などの影響により、経常利益は4億16百万円（前期比50.4%減）、当期純利益は2億51百万円（前期比48.4%減）となりました。

これからの当社グループは、競合他社との競争が激化する中、製品とサービスの差別化を進めて収益力を確保することを最重要課題と位置付けてまいります。

その実現のために、組織におきましては、平成19年6月に商品開発機能の柱となる新事業開発室を設置いたしました。また、平成20年5月には九州に営業所を開設し、今後は愛知県内にも営業所の開設を行って国内営業の強化に努

めてまいります。また、家庭紙・日用雑貨事業の拡大を図るために、平成19年12月にグループ会社である株式会社紙叶と当社の家庭紙・日用雑貨事業を統合して、アズフィット株式会社と商号を変更いたしました。これによって関東圏における家庭紙の専門卸としての地位を確立すると共に、競争力を高めるために物流網の整備、管理業務の集約化など、より一層のローコストオペレーションを実現してまいります。

さらに、コーポレートガバナンスに関しましては、ステークホルダーの皆様からの信頼を高めるために、財務報告に係る内部統制の体制構築を引き続き推進し、適時情報開示の姿勢を守ること、CSRを重視した行動をとることを心掛け、グループ全体の経営の健全性、安全性の向上に努める所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解をいただき、また従来と変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 中田 範三

CONTENTS

| | | | |
|-----------------|-----|-----------------|-------|
| 企業理念..... | 1 | 連結経営指標のグラフ..... | 8 |
| ごあいさつ..... | 2 | 連結財務諸表(要旨)..... | 9~11 |
| ご質問にお答えします..... | 3~4 | 単体財務諸表(要旨)..... | 11~12 |
| トピックス..... | 5~6 | おもな関係会社..... | 13 |
| 事業部門の状況..... | 7 | 株式の状況・会社概要..... | 14 |

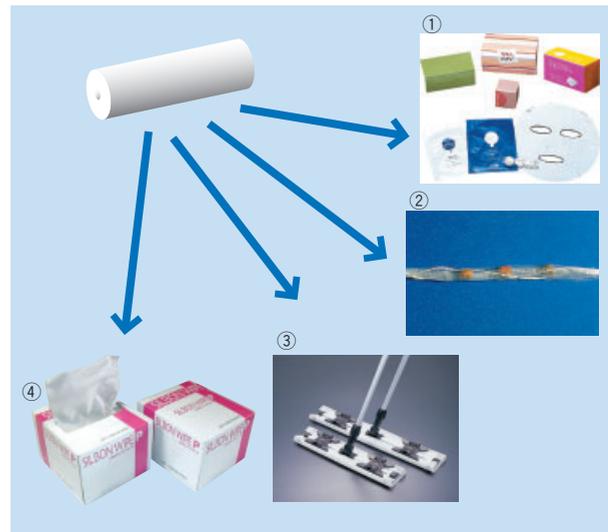
Q1 小津産業の扱う不織布製品はどんなものですか？

A1 主に当社グループの加工工場
加工され、取り扱う製品は多岐に
わたります。

オヅテクノと旭小津

グループ会社のオヅテクノ株式会社と株式会社 旭小津では、不織布の加工を行っております。オヅテクノ株式会社は主に東日本の顧客向けの加工を、株式会社 旭小津は西日本向けの加工を中心に、両工場とも工業用、医療用不織布製品の製造を行っている医療機器製造認可工場です。

両工場では、小津産業が各種繊維メーカーから仕入れた原反（巨大なロール状の不織布）をお客様のニーズに合った形に加工して提供しています。たとえば、仕入れた原反を独自の裁断技術によりカットし、4～8つ折りのバリエーションを加えて様々な種類の製品へと加工しております。細かい塵が出ないカット技術により、先端技術の製造工程（クリーンルーム）で求められる品質水準をクリアしたワイパー製品が誕生しています。



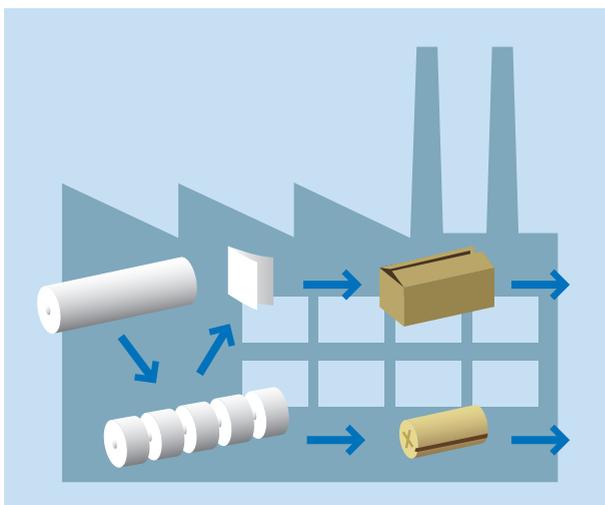
当社の加工商品

小津産業の取り扱っている不織布製品は、エレクトロニクス分野のほかに、メディカル分野、コンシューマー分野、アグリ分野と多岐にわたります。たとえば、

- ① フェイスマスクや化粧用コットンなどコスメティック用品
- ② 種を包んだ農業用シダーテープ
- ③ エレクトロニクス関連工場の製造工程（クリーンルーム）で用いられているモップ
- ④ 医療現場で用いられている不織布ガーゼ

その他、表紙ページの写真のように高機能ワイパーや医療・介護現場で用いられるディスポーザブルマスクなど。

不織布が人々の生活や様々な産業分野に浸透していくにつれて、小津産業のコンバーター（加工）機能が広く求められるようになりました。



Q2 現在推進中の中期経営計画『TOP520』について、お聞かせください。

A2 厳しい経営環境の中、
1年目を終了いたしました。

中期経営計画『TOP520』の1年目が終了いたしました。当社グループの平成20年5月期の業績は、原油高に伴う原材料の価格上昇や当社製品の価格競争の激化により、目標数値に達することができませんでした。その影響から平成21年5月期の業績予想についても、当初の計画の達成が厳しい状況となっております。

当社グループを取り巻く経営環境は、依然厳しい状況ではありますが、中期経営計画『TOP520』の基本の柱である6つの重点戦略はグループの中長期的な成長に重要なものと認識しております。今後も引き続き中期経営計画

『TOP520』を継続し、目標を達成するプロセスを糧に、企業価値をさらに高め、最終年度（平成22年5月期）の目標である連結売上高520億円、経常利益16億円を目指してまいります。

- 戦略1 得意とする商品分野のパイオニアになる
- 戦略2 販売体制の拡充を実行する
- 戦略3 流通システムの再構築によりサービス力を高める
- 戦略4 独創性、想像力に優れ、チャレンジ精神旺盛な人材を育成する
- 戦略5 環境保全に関心を持った活動を行う
- 戦略6 高い倫理感に基づく行動を心がける

Q3 野菜の生産と販売を行う新規事業を開始されたそうですね。

A3 食の安全と消費者の健康増進に
貢献することを目的としています。

平成21年5月期から新規事業として、野菜の生産と販売を行う「日本橋やさい」を開始いたします。東京都府中市にありますグループ会社の建物内に栽培床を設け、完全閉鎖のクリーンな環境下でレタスやハーブ類の水耕栽培を行います。この手法では、①農薬を使わず、安全でおいしい野菜が作れる、②都内生産のため、新鮮なまま首都圏の消費地へ配送できる、③品質が一定で廃棄部分が少ない、④生産から出荷までのトレーサビリティが容易、など様々な利点があるため、食の安全と消費者の健康に貢献することができます。

なお、「日本橋やさい」の事業名称は、当社の本社地が東京の日本橋にあること、また当事業の拡大を図り、将来は本社近隣でも同事業を行うことを目標に定めていることから名付けました。



写真 左：水耕栽培のイメージ写真
写真 右：平成20年5月に行われた展示会では多くのお問い合わせをいただきました。

家庭紙・日用雑貨事業を統合し、アズフィット株式会社を設立いたしました

平成19年12月1日、小津産業株式会社における家庭紙・日用雑貨事業と、グループ会社である株式会社紙葉を統合し、アズフィット株式会社を設立いたしました。

当社は、株式会社紙葉をすでに平成18年9月に完全子会社化しておりましたが、当社の家庭紙・日用雑貨事業を統合することによって、事業のさらなる拡大、競争力強化を図ることが可能であることから、1都6県を基盤とする家庭紙の専門卸としてスタートいたしました。

ティシュペーパーやトイレットペーパーなどの家庭紙・日

用雑貨品は、消費者の嗜好の多様化への対応や価格競争の激化に加えて、昨今の石油やパルプ・古紙などの原材料価格の高騰により、大変厳しい経営環境の中にあります。

この厳しい環境を乗り越えるために、アズフィット株式会社では、物流網の整備や一層のローコストオペレーションの実現など、統合のメリットを最大限に発揮しつつ、「家庭紙の専門卸」としてのノウハウを生かし、市場における存在感を示してまいります。

Topics1



アズフィット株式会社
代表取締役社長
山本 行高

「家庭紙のプロフェッショナル集団」として

このたび、小津産業株式会社の家庭紙・日用雑貨事業と株式会社紙葉を統合し、新しくアズフィット株式会社としてスタートいたしました。

私は、この統合により、家庭紙に特化したプロフェッショナル集団が誕生したと自負しております。家庭紙に特化して事業を展開することにより、専門知識を活かした質の高いサービスを提供できる営業のプロフェッショナルであること、消費者ニーズに合った付加価値商品や企画のご提案ができる仕入のプロフェッショナルであること、そして、14ヵ所の物流拠点を中心に効率的な配送を行う物流のプロフェッショナルであることが他社にない当社の強みとなったと言えるでしょう。この強みを活かして、単なるベンダーとしてではなく、お客様のニーズや市場の変化に柔軟に対応するコンバーター（加工）型サプライヤーとして成長していきたいと考えております。

社名の由来

azfit

社名のアズフィット(AZFIT)には、アルファベットの始まりである「A」から、終わりの「Z」に至る、あらゆるテーマに「FIT」して、美しい調和をもたらすことを使命とする、同社の誓いがこめられています。

不織布事業の販売強化のため、九州出張所を開設いたしました

平成20年5月12日、不織布事業を担当する機能素材営業部では、熊本県合志市に九州出張所を新たに開設いたしました。九州はシリコンアイランドとして半導体を中心にエレクトロニクス産業の工場が集中しており、大型工場の新設や既存工場の増設など旺盛な設備投資が行われております。地域密着型の営業を行うにあたり、ユーザーに近い営業拠点は欠かせません。当社の主力製品であるエレクトロニクス分野の不織布ワイパーの販売強化のため、重要な拠点となっております。

Topics2



九州出張所：
〒861-1113
熊本県合志市栄3415-25

九州一円の主要ユーザーとなる工業団地や高速道路のインターチェンジへのアクセスが良い営業拠点となっております。

Topics3



1階店舗内。手漉き和紙の実演に迎えられ、多くの株主の方で賑わいました。



2階ギャラリー。書画、陶器、押し花など様々な作品の展示即売を行っております。

小津和紙博物館の見学会を行いました

昨年の第96回定時株主総会終了後、小津和紙博物館にて、手漉き和紙の実演、小津史料館のご案内、当社の商品の展示を行い、多くの株主の皆様にご参加いただきました。

普段なかなかご覧いただけない当社の産業用不織布製品も展示し、和紙の販売から始まる小津産業の今と昔に触れていただきました。

株主の皆様のご意見やご感想をいただく貴重な機会となり、このような交流の場を今後とも設けていきたいと思っております。

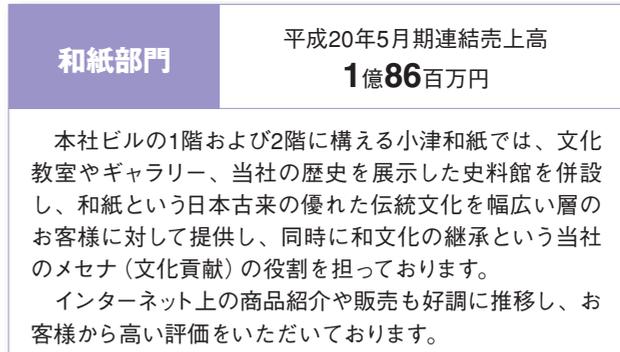
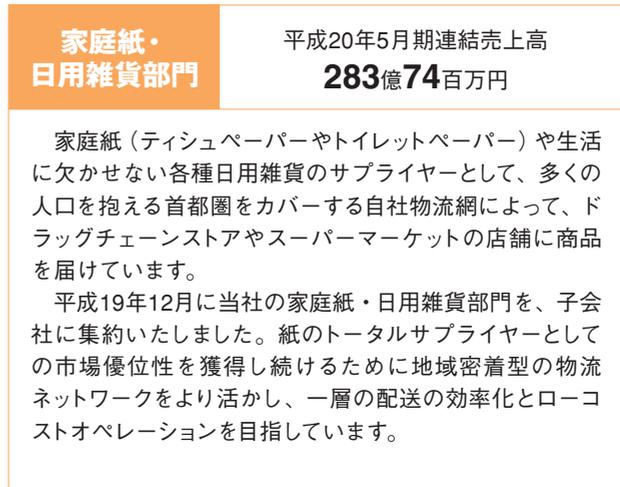
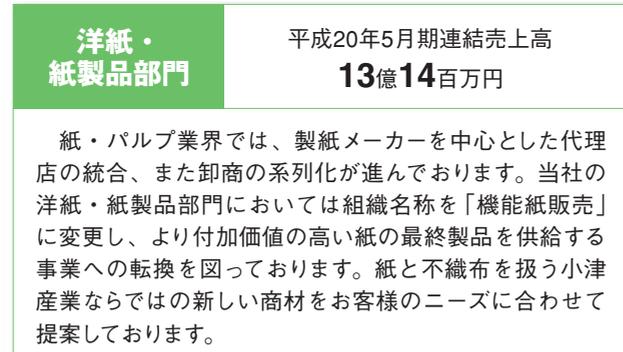
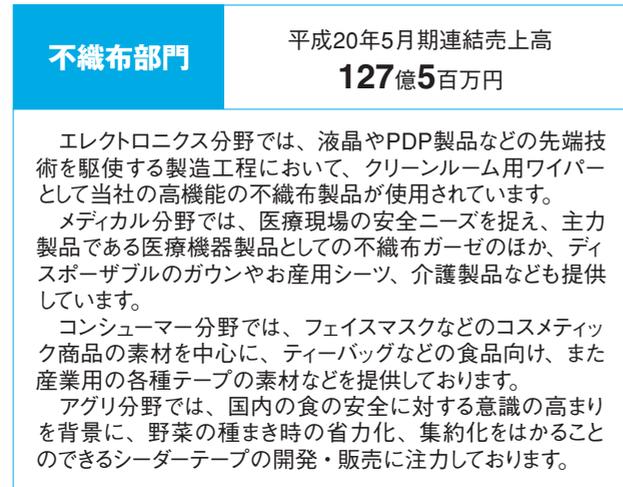


2階史料館。創業時の紙問屋時代から残る文化財など350余年の時の流れを感じさせる品々を担当員が解説いたしました。



当社製品の展示。営業担当者が特長や使い方について直接ご説明いたしました。

事業部門の状況



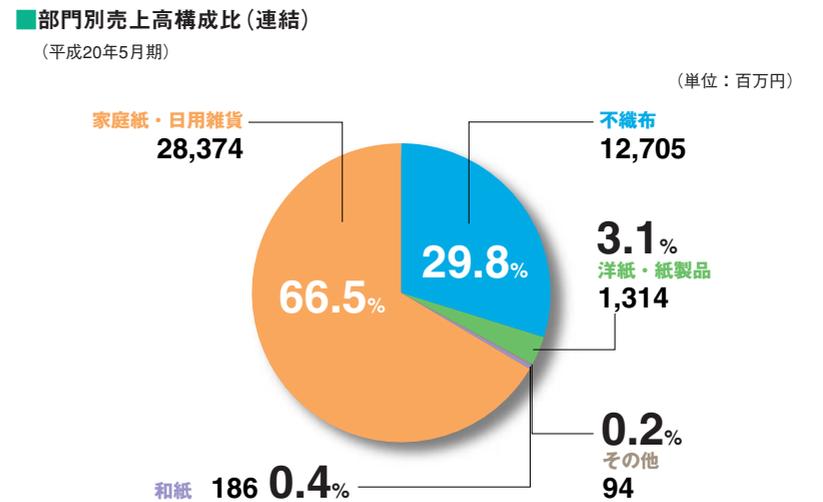
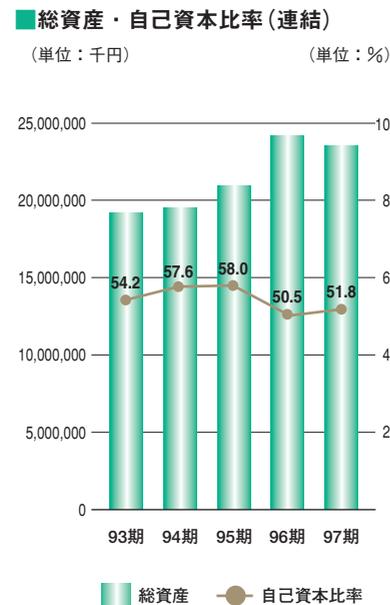
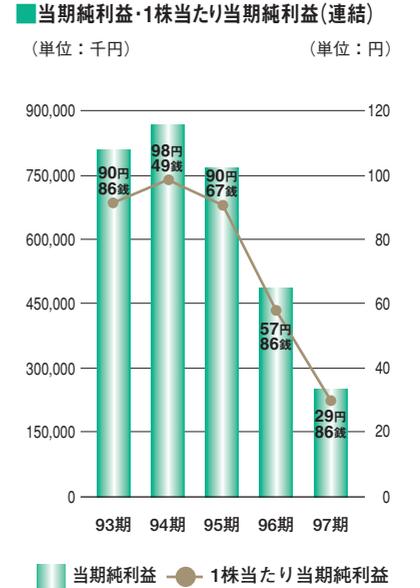
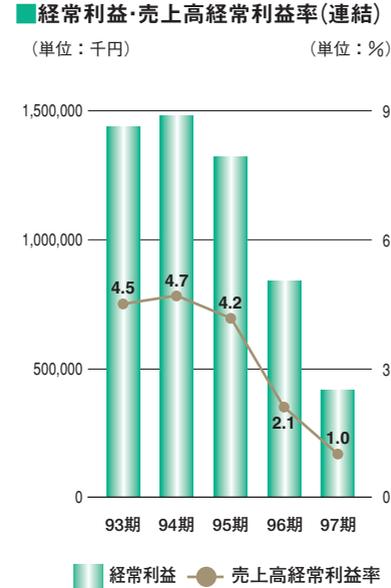
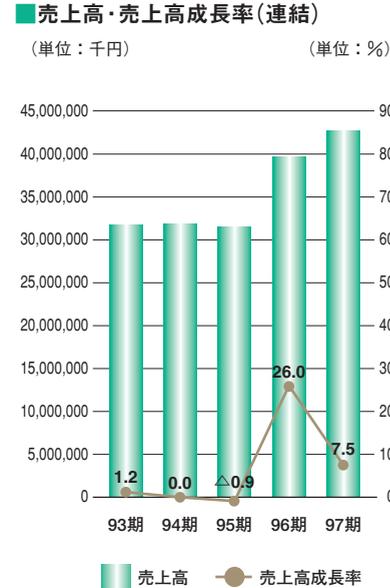
新商品のご紹介

アクトリルウェットワイパー（病院・研究所・工場向け）

アクトリルウェットワイパーは、小津産業の主力製品である不織布ワイパーと過酢酸系除菌剤のコラボレーション製品です。過酢酸は、非常に殺菌効果が高い薬剤のため、既存のアルコール系ウェットワイパーよりもはるかに効果的に除菌することができます。病院・介護現場、製薬・バイオ系の研究所、食品工場などに「簡単、確実、安全」な菌管理環境を提供する製品です。



「手軽に除菌!! しっかり除菌!!」をキャッチコピーに8月より販売開始。



連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| | (平成20年5月31日現在) | (平成19年5月31日現在) |
| (資 産 の 部) | | |
| 流 動 資 産 | 15,504,933 | 15,304,860 |
| 現金及び預金 | 4,261,195 | 3,618,613 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,583,990 | 8,978,564 |
| 有 価 証 券 | 101,391 | 101,026 |
| た な 卸 資 産 | 1,898,198 | 1,844,875 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 94,326 | 160,844 |
| そ の 他 | 660,450 | 675,647 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 94,619 | △ 74,711 |
| 固 定 資 産 | 8,019,849 | 8,892,187 |
| 有 形 固 定 資 産 | 4,586,959 | 4,882,705 |
| 建 物 及 び 構 築 物 | 2,603,757 | 2,802,446 |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 | 46,167 | 47,686 |
| 土 地 | 1,903,303 | 1,992,398 |
| そ の 他 | 33,731 | 40,174 |
| 無 形 固 定 資 産 | 311,159 | 355,467 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 3,121,729 | 3,654,014 |
| 資 産 合 計 | 23,524,783 | 24,197,048 |

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| | (平成20年5月31日現在) | (平成19年5月31日現在) |
| (負 債 の 部) | | |
| 流 動 負 債 | 8,488,144 | 9,104,573 |
| 支払手形及び買掛金 | 5,692,253 | 6,014,420 |
| 短 期 借 入 金 | 1,560,000 | 1,160,000 |
| そ の 他 | 1,235,891 | 1,930,152 |
| 固 定 負 債 | 2,845,314 | 2,874,360 |
| 社 債 | 1,237,500 | 1,222,500 |
| 長 期 借 入 金 | 967,797 | 849,233 |
| 繰 延 税 金 負 債 | 268,153 | 340,270 |
| 退 職 給 付 引 当 金 | 168,899 | 196,590 |
| 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 170,460 | 210,592 |
| そ の 他 | 32,503 | 55,173 |
| 負 債 合 計 | 11,333,459 | 11,978,933 |
| (純 資 産 の 部) | | |
| 株 主 資 本 | 11,722,867 | 11,655,351 |
| 資 本 金 | 1,322,214 | 1,322,214 |
| 資 本 剰 余 金 | 1,374,967 | 1,374,758 |
| 利 益 剰 余 金 | 9,028,177 | 8,961,892 |
| 自 己 株 式 | △ 2,491 | △ 3,513 |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 468,456 | 562,763 |
| そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 468,456 | 562,763 |
| 純 資 産 合 計 | 12,191,323 | 12,218,115 |
| 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 23,524,783 | 24,197,048 |

連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| | (平成19年6月1日から平成20年5月31日まで) | (平成18年6月1日から平成19年5月31日まで) |
| 売 上 高 | 42,674,233 | 39,697,942 |
| 売 上 原 価 | 35,745,725 | 33,022,056 |
| 売 上 総 利 益 | 6,928,507 | 6,675,886 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 6,500,347 | 5,855,742 |
| 営 業 利 益 | 428,160 | 820,144 |
| 営 業 外 収 益 | 104,451 | 93,564 |
| 仕 入 割 引 | 18,171 | 15,812 |
| そ の 他 | 86,280 | 77,751 |
| 営 業 外 費 用 | 116,201 | 74,301 |
| 支 払 利 息 | 59,065 | 43,670 |
| そ の 他 | 57,135 | 30,631 |
| 経 常 利 益 | 416,410 | 839,406 |
| 特 別 利 益 | 295,846 | 53,101 |
| 貸 倒 引 当 金 戻 入 額 | 37,482 | — |
| 保 険 金 収 入 | 152,576 | 45,346 |
| 固 定 資 産 売 却 益 | 95,948 | — |
| そ の 他 | 9,838 | 7,755 |
| 特 別 損 失 | 115,736 | 13,225 |
| 固 定 資 産 売 却 損 | 9,875 | 5,040 |
| 固 定 資 産 除 却 損 | 8,249 | 4,391 |
| 解 約 損 害 金 | 14,529 | — |
| 投 資 有 価 証 券 評 価 損 | 39,027 | 3,793 |
| そ の 他 | 44,055 | — |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益 | 596,520 | 879,282 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 283,868 | 484,388 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 60,826 | △ 93,055 |
| 当 期 純 利 益 | 251,825 | 487,950 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|------------------|---------------------------|---------------------------|
| | (平成19年6月1日から平成20年5月31日まで) | (平成18年6月1日から平成19年5月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 748,309 | 199,881 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 382,998 | △ 20,973 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △497,444 | △197,855 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 11,955 | 13,338 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 621,907 | △ 5,608 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,719,640 | 3,725,249 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,341,547 | 3,719,640 |

連結貸借対照表

POINT

資産合計は前期比で6億72百万円減少の235億24百万円となりました。資産の部では“現金及び預金”が6億42百万円増加したものの、“受取手形及び売掛金”が3億94百万円減少したほか、建物及び構築物、土地、投資その他の資産の減少により“固定資産”が8億72百万円減少しております。

連結損益計算書

POINT

売上高は前期比で7.5%増加したものの、営業拠点の増強や家庭紙・日用雑貨事業の統合に要した費用の増加、また原料資材の高騰などの影響により、営業利益が前期比で3億91百万円減少いたしました。これらの結果、当期純利益は2億51百万円となり、前期比で48.4%の減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

POINT

“営業活動によるキャッシュ・フロー”は、売上債権の減少が3億94百万円あったこと、減価償却費が2億8百万円あったことにより7億48百万円の収入となりました。

“投資活動によるキャッシュ・フロー”は投資有価証券の取得による支出が1億21百万円あったものの、有形固定資産売却による収入が2億16百万円あったこと、および保険金の受取額2億55百万円を反映し、3億82百万円の収入となりました。

連結株主資本等変動計算書(要旨)

平成19年6月1日から平成20年5月31日まで
(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|------------|--------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 平成19年5月31日 残高 | 1,322,214 | 1,374,758 | 8,961,892 | △ 3,513 | 11,655,351 | 562,763 | 562,763 | 12,218,115 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △185,540 | | △185,540 | | | △185,540 |
| 当期純利益 | | | 251,825 | | 251,825 | | | 251,825 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 368 | △ 368 | | | △ 368 |
| 自己株式の処分 | | 209 | | 1,389 | 1,598 | | | 1,598 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △ 94,307 | △ 94,307 | △ 94,307 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | 209 | 66,284 | 1,021 | 67,515 | △ 94,307 | △ 94,307 | △ 26,791 |
| 平成20年5月31日 残高 | 1,322,214 | 1,374,967 | 9,028,177 | △ 2,491 | 11,722,867 | 468,456 | 468,456 | 12,191,323 |

株主資本等変動計算書(要旨)

平成19年6月1日から平成20年5月31日まで
(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 | | |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|----------|--------------|----------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | | 評価・換算差額等合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | | | | 利益剰余金合計 |
| 平成19年5月31日 残高 | 1,322,214 | 1,374,758 | 1,374,758 | 271,033 | 7,340,000 | 881,164 | 8,492,198 | △ 2,123 | 11,187,047 | 554,158 | 554,158 | 11,741,205 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | | 200,000 | △200,000 | - | | | | | - |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △185,540 | △185,540 | △185,540 | | | △185,540 |
| 当期純利益 | | | | | | | 209,801 | 209,801 | 209,801 | | | 209,801 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △ 368 | △ 368 | | | △ 368 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | | | | | | | | | | △ 98,622 | △ 98,622 | △ 98,622 |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | - | 200,000 | △175,739 | 24,260 | △ 368 | 23,892 | △ 98,622 | △ 98,622 | △ 74,729 |
| 平成20年5月31日 残高 | 1,322,214 | 1,374,758 | 1,374,758 | 271,033 | 7,540,000 | 705,425 | 8,516,459 | △ 2,491 | 11,210,940 | 455,536 | 455,536 | 11,666,476 |

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 当期 (平成20年5月31日現在) | 科目 | 当期 (平成20年5月31日現在) |
|-----------|----------------------|--------------|----------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 8,790,220 | 流動負債 | 4,494,336 |
| 現金及び預金 | 2,558,154 | 支払手形 | 309,536 |
| 受取手形 | 1,673,610 | 買掛金 | 2,493,600 |
| 売掛金 | 2,189,599 | 短期借入金 | 1,100,000 |
| 有価証券 | 101,391 | 1年内返済予定長期借入金 | 7,444 |
| 商品 | 785,148 | 1年内償還予定社債 | 100,000 |
| 前渡金 | 1,494 | 未払金 | 113,372 |
| 前払費用 | 35,507 | 未払費用 | 232,424 |
| 繰延税金資産 | 76,448 | 未払法人税等 | 31,019 |
| 関係会社短期貸付金 | 1,270,000 | その他 | 106,939 |
| その他 | 126,989 | 固定負債 | 2,430,452 |
| 貸倒引当金 | △ 28,125 | 社債 | 1,100,000 |
| 固定資産 | 9,801,044 | 長期借入金 | 919,232 |
| 有形固定資産 | 2,594,659 | 繰延税金負債 | 204,493 |
| 建物 | 1,345,235 | 退職給付引当金 | 54,766 |
| 構築物 | 297,753 | 役員退職慰労引当金 | 121,300 |
| 機械装置 | 4,273 | その他 | 30,660 |
| 車両運搬具 | 346 | 負債合計 | 6,924,788 |
| 器具備品 | 25,641 | (純資産の部) | |
| 土地 | 921,408 | 株主資本 | 11,210,940 |
| 無形固定資産 | 13,905 | 資本金 | 1,322,214 |
| 投資その他の資産 | 7,192,480 | 資本剰余金 | 1,374,758 |
| 投資有価証券 | 1,663,165 | 資本準備金 | 1,374,758 |
| 関係会社株式 | 4,243,386 | 利益剰余金 | 8,516,459 |
| 関係会社長期貸付金 | 400,000 | 利益準備金 | 271,033 |
| 長期前払費用 | 402,993 | その他利益剰余金 | 8,245,425 |
| 保険積立金 | 170,783 | 別途積立金 | 7,540,000 |
| その他 | 469,848 | 繰越利益剰余金 | 705,425 |
| 貸倒引当金 | △157,699 | 自己株式 | △ 2,491 |
| 資産合計 | 18,591,265 | 評価・換算差額等 | 455,536 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 455,536 |
| | | 純資産合計 | 11,666,476 |
| | | 負債及び純資産合計 | 18,591,265 |

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 当期 (平成19年6月1日から平成20年5月31日まで) |
|--------------|---------------------------------|
| 売上高 | 22,126,758 |
| 売上原価 | 18,165,044 |
| 売上総利益 | 3,961,714 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,507,378 |
| 営業利益 | 454,336 |
| 営業外収益 | 78,849 |
| 営業外費用 | 92,517 |
| 経常利益 | 440,668 |
| 特別利益 | 199,093 |
| 特別損失 | 109,545 |
| 税引前当期純利益 | 530,216 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 218,000 |
| 法人税等調整額 | 102,415 |
| 当期純利益 | 209,801 |

おもな関係会社

オズテクノ株式会社

(東部加工センター)
不織布専用の加工工場です。
工業用、医療用不織布製品の製造を行っている医療機器製造認可工場です。
(小津産業として医療機器製造認可を取得しております。)



■所在地 埼玉県さいたま市見沼区卸町1-15
■資本金 25,000千円

アズフィット株式会社

家庭紙・日用雑貨および事務用品の卸売、製造販売を行っています。
紙と不織布に新しい価値や機能性を付加した商品を開発し、市場へ積極的に投入しています。



■所在地 東京都府中市矢崎町1-39-1
■資本金 100,000千円

日本プラントシーダー株式会社

「シーダー農法」という独自の技術を持ったアグリ事業を展開。
野菜や花などの種まきの省力化と効率化を図るシーダーテープに関連したマシンや資材の製造・販売を行っています。



■所在地 東京都中央区日本橋本町4-9-2
■資本金 85,000千円

株式会社 旭小津

(西部加工センター)
旭化成せい株式会社との1:1の合弁会社。
高付加価値製品開発を可能にした不織布の加工、および医療用不織布製品の製造を行っている医療機器製造認可工場です。



■所在地 宮崎県延岡市柳津町3294-1
■資本金 20,000千円

株式の状況 (平成20年5月31日現在)

■発行可能株式総数 25,000,000株
■発行済株式の総数 8,435,225株
■株主数 5,130名

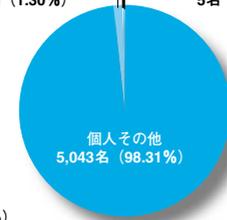
■大株主

| 株主名(上位10名) | 当社への出資状況 持株数 | 議決権比率 |
|-------------|-----------------|--------|
| 株式会社小津商店 | 2,986,076株 | 35.41% |
| 小津取引先持株会 | 411,200 | 4.88 |
| 小津産業従業員持株会 | 222,560 | 2.64 |
| 今井 武一 | 169,821 | 2.01 |
| 別府 清一郎 | 137,790 | 1.63 |
| 岡 喜美子 | 121,464 | 1.44 |
| 日本大昭和板紙株式会社 | 118,250 | 1.40 |
| 旭化成せい株式会社 | 117,700 | 1.40 |
| 株式会社みずほ銀行 | 117,000 | 1.39 |
| 大上 勉 | 100,000 | 1.19 |

(注) 議決権比率は自己株式(1,794株)を控除して計算しております。

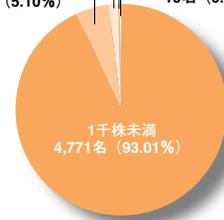
■株式の所有者別状況(株主数)

証券会社 8名(0.15%)
金融機関 7名(0.14%)
その他国内法人 67名(1.30%)
外国法人等 5名(0.10%)



■株式の所有数別状況(株主数)

1万株以上 73名(1.42%)
5万株以上 14名(0.27%)
1千株以上 262名(5.10%)
10万株以上 10名(0.20%)



会社概要 (平成20年5月31日現在)

創 業 承応2年(1653年)
設 立 昭和14年12月6日
資 本 金 13億2,221万円
従 業 員 数 147名
事 業 内 容 不織布(エレクトロニクス用、メディカル用、
コンシューマー用)、洋紙・紙製品、和紙などの
国内販売・加工および輸出入



■事業所

本 社/東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
〒103-8435 TEL.(03)3661-9400(代表)
小津和紙/東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
〒103-8435 TEL.(03)3662-1184
大阪支店/九州出張所

■物流センター

埼玉第一物流センター/埼玉第二物流センター

■海外事業所

シンガポール支店/香港支店/武漢事務所/上海駐在員事務所

役 員

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 中田 範三 |
| 常務取締役 | 山本 行高 |
| 取締役 | 長瀬 健 |
| 取締役 | 今枝 英治 |
| 取締役相談役 | 北村 純夫 |
| 常勤監査役 | 大家 孝明 |
| 常勤監査役 | 穴田 信次 |
| 監査役 | 城見 浩一 |
| 監査役 | 松田 繁 |

(平成20年8月28日現在)

執行役員

| | |
|------|-------|
| 執行役員 | 佐藤 功 |
| 執行役員 | 河田 邦雄 |
| 執行役員 | 近藤 聡 |